

ECR00

5つのチェック機能

1. 分岐回路チェック
2. 電圧チェック
3. 極性チェック
4. 接地チェック
5. 漏電遮断器動作チェック

これら5つの機能が1台に収まっていますから、作業の途中で別のチェッカーに取り替える必要がありません。

■停電の必要がありません

ご家庭の増改築工事の場合など、活線状態での迅速な作業のご要望に停電の必要なくチェックが可能です。

※漏電遮断器動作チェックを行う場合、漏電遮断器が正常に動作すると停電します。

■2P、3Pどちらのコンセントにも対応

変換アダプタを用意しなくても2P-3P兼用のプラグの付いた電源ケーブルを標準装備しています。

ご注意

- ・らくらくチェッカーは単相回路専用ですので、動力回路ではご使用になれません。ファイターチェッカーをご検討ください。
- ・50/60Hz専用ですので可搬形発電機のように周波数の不安定な電源では回路判別できない場合があります。
- ・分岐回路判別はPLC(電力線搬送通信)技術を応用しています。PLCの性質上、接続した回路のインピーダンス(搬送周波数における)が極めて低い場合や、搬送周波数(約1kHz)付近に連続したノイズがあると、信号がノイズに埋もれて通信不能となって、エラー表示になる場合があります。



分岐回路判別器 (24回路【標準】)

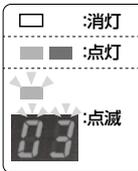
チェッカー本体

標準センサー

チェックモードと表示(例：自動モード)

表示の一例を記載しています。

表内の表示



チェックスタート!

本体の電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込みます。



自動モード

自動モード選択状態となっています。

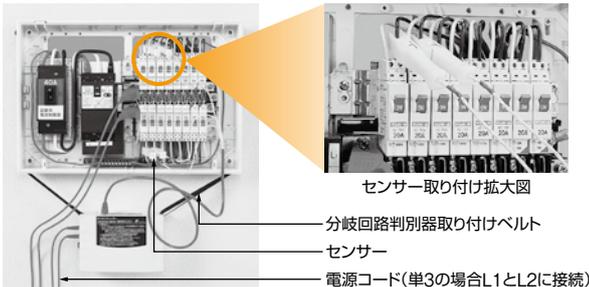


《機能選択》の【極性・接地】、《結果》の【電圧】ランプが点灯し、分岐回路番号が「—」表示します。

取扱手順(自動モード、手動モード2)

取扱手順の一例を記載しています。

- (1) 分岐回路判別器を分電盤に取り付けた後、電源コードとセンサーを取り付け、電源スイッチを入れます。(線路探索時に必要です。)



センサー取り付け拡大図

分岐回路判別器取り付けベルト

センサー

電源コード(単3の場合L1とL2に接続)

- (2) チェッカー本体のプラグをコンセントに差し込みます。(コンセントに差し込んだ直後に自動で「電圧チェック」を行います。)



コンセント

(電圧OK)

点灯

電圧チェックOK後の表示

機能選択ボタン

実行ボタン

- (3) 機能選択ボタンを押して機能を選択し、実行ボタンを押すと各モードでチェックを開始します。

すべてOKの場合

接地NGの場合

表示例

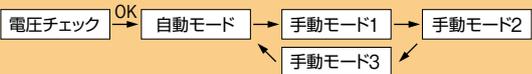


【電圧】・【極性】・【接地】・【線路探索】のチェック結果を表示します。



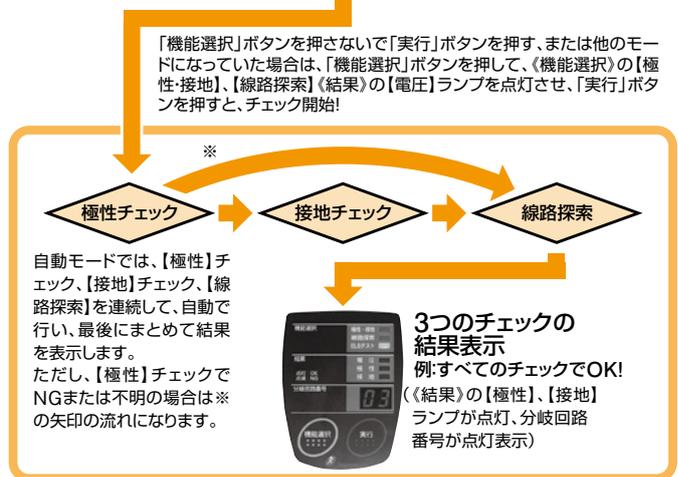
【極性】ランプ点灯、【接地】ランプ点滅、分岐回路番号が点灯表示します。

「機能選択」ボタンを押すたびにモードが変わります。(電圧チェックは自動)



漏電遮断器動作テスト(ELBテスト)についてのご注意!!

漏電遮断器動作テストが正常に行なわれると、漏電遮断器が動作し、すべての電源がなくなりますので、注意して行なってください。漏電遮断器動作テストは、「機能選択」ボタンを押して、【ELBテスト】を選択し、「実行」ボタンを2秒以上押ししてください。漏電遮断器が正常であれば、漏電遮断器が動作します。(コンセントのアース接触が必要)



| 型式 | ECR00 | |
|------------------|---|---------------------|
| チェック対象電気方式 | 単相回路専用 | |
| 線路探索回路数 | 24回路 標準装備 | |
| 外形寸法 (タテ×ヨコ×フカサ) | 本体 | 分岐回路判別器 |
| | 175×70×39mm(突起部除く) | 120×174×72mm(突起部除く) |
| 質量 | 約240g | 約650g |
| センサー | 標準センサー(ECR-2S)付属 対応電線 φ1.6mm~5.5mm ² まで(外径 φ6mmまで) | |
| 付属品 | 電源ケーブル(本体用、アース端子可倒式3Pコンセント付)1本、 電源ケーブル(分岐回路判別器用、赤)2本、 センサー6本(赤、緑、灰、黄、青、白)、ワニ口クリップ(大小、赤)各2個、 S字フック2個、本体用ストラップ1本、取扱説明書1枚、操作フロー1枚 | |
| ご注文品番 | ECR00 | |
| 納期区分 | ◎ | |
| 標準価格(円) | 123,800 | |